

学びを行動に結びつける

11月14日(月)、4年生の稲花タイムは オイシックス・ラ・大地から講師をお迎えしての特別授業(第2回)でした。先週の授業に基づいて、各家庭での取り組みをそれぞれが調べまとめたことを発表した様子からも、子どもたちが自分のこととして、フードロス考えた1週間であることがうかがわれました。また「お助けルールアイデアシート」作りでは、やさいの名前をもとにルール作りをしていました。たとえば、「きのこ」であれば「きれいな物も食べよう、のこさず食べよう、こころをこめて食べよう」、また、「おくら」であれば「おいしく食べよう、くふうして食べよう、ラップしてほぞんして食べよう」のように、皆で意見を出し合ってまとめていくのです。このように楽しみながらグループワークを行って、様々なアイデアを出していきました。

これから3学期にかけて、子どもたちはこの学びを行動に結びつけ、考えたり記録したりすることになっています。ご家庭でのご協力もよろしくお願いいたします。



俳句を作ろう

11月15日(火)は3年2組を対象に、また、17日(木)は2年1組を対象に、東京農業大学名誉教授で俳人の中川純一先生による稲花タイム「俳句を作ろう」が行われました。先週と同様、中川先生の物静かな語り口に、子どもたちは集中してお話を聞いていました。そして、子どもたちの日常がうかがわれる楽しい俳句が次々に発表されました。3年生は切れ字についても学んだのですが、まだ切れ字を正しく使うことが難しい様子も見受けられました。季語の使い方と同様、俳句を何回も作っていくにつれて慣れてくることでしょう。なお、先生がお持ちになった歳時記は、子どもたちの関心の的。歳時記を「見せてください」「貸してください」の声が続き、無傷で先生の手元に戻った時はほっとしました。

中川先生は、東京農業大学で微生物学の研究と教育をされていた科学者です。そして、俳人でもあるのです。子どもの一人から、「先生が今までに作った俳句で、一番よくできたと思うのはどんな俳句ですか」という鋭い質問も出ていました。後程、先生に伺ったところでは、大腸菌の接合の不思議についての一句とのことでした。子どもたちが、微生物について少し習ってから伝えようと思います。

木工に取り組む

11月18日(金)、先週の1組に続き、1年2組が稲花タイムで東京農業大学森林科学科 教授大林宏也先生に木を使った工作のご指導をいただきました。まずは、木や木材についてのお話を伺いました。机、ドア、そして紙までもが木でできています。では、「木は何でできているんですか」とこれも鋭い子どもの質問。先生が、細胞、セルロース、そして最後に「さんぞ、すいぞ、たんぞ」とホワイトボードに書かれると、子どもたちは納得した表情で一件落着。

次に、小さな板や立方体に切られた木材が配られました。完成例を見せると、子どもたちのオリジナリティが無くなってしまおうとのことで、まずは自由に作ることを大切に大林先生は指導をしてくださいました。中には「正しく」作ることに執着してお手本がないと困るという子どももいましたが、この工作にはお手本はありません。サンドペーパーが配られると、どの子どもたちも夢中で、自分の板の角を丸くしたり、表面をすべすべにしたりしようと取り組みはじめました。さらに、板に穴を開けていただいてリボンを通したり、接着剤で板どうしをくっつけたり、思い思いの作品ができていきました。

最後に、クスノキの木片を一人ひとつずつ頂きました。いい匂いがします。虫よけにも使われるということを知り、驚いた子どももいたことでしょう。子どもたちが大切に持ち帰ったクスノキの木片、ご家族にも一緒に、香りを楽しんでいただけたらと思います。



キャッサバがお目見え

本校では月替わりで昆虫標本を展示しているほか、折々の植物や農作物などの展示もしています。最近では、校友の栽培した次郎柿、おなじく校友ほかからいただいたリンゴ(姫神、ぐんま名月)そして給食で提供したリンゴ(トキ)、また、東京農業大学の元教員から送っていただいたカリンなどを展示しました。

そして11月16日(水)には、東京農業大学志和地弘信教授から、学生さんたちの研究用に栽培したキャッサバのイモ(塊根)をプレゼントしていただきました。実は校長も、タイ、カンボジア、ベトナムなどでキャッサバの病害の研究をしていたことがあります。熱帯で人の背よりも高く育つキャッサバは、地下には巨大なイモができます。熱帯ではよく見かけるものですが、その巨大なイモを、農大稲花小の子どもたちに見せることができることは、本当に素敵なことです。このイモの粉から、タピオカを作ると聞いて、ちょっと信じられないというような顔をした子どもたちでした。



キャッサバ



カリン

英語の授業で

本校では全学年が、毎日、英語の学習に取り組んでいます。ある日の3年生の授業では、ディクテーションをやっていました。先生が「I named my dog “Big Dog” .」と言うのを聞いて、子どもたちはノートに書いていきます。name という動詞を知っていることも驚きますが、named もちゃんと聞き分けています。先生の発音を数回聞いて、子どもたちが概ね書きとったところで、先生が手で引用符のサインをして、Big Dog を引用符の中に入れることを説明します。引用符をつけることを忘れていた子どもたちはハッと気づいて、追記していきます。次に「Big Dog は名前ですよ。名前は どう書くのでしたっけ?」という先生からの英語での問いかけに、「capital!」と答える子ども。big dog と書いていた子どもは、ここで、Big Dog に直していきます。子どもたちの進歩を感じた授業でした。

Listen and Write:

What did you bring for lunch? (ch 18 writer 75)
 You like to swim because you're a fish. (ch 13 writer 55)
 I saw them at English class. (ch 9 writer 39)

Listen and Write:

Surprise, candles, office, English, drove, basket, bite, medicine, gorilla, finally, afraid, whisper

Finish the sentence:

An office has _____ (ch 6)
 _____ in the corner. (ch 2)
 It is hard to swallow _____ (ch 16)

問題文

Name _____

Unit 21 - "Whose Surprise is it?"

Listen and Write:

① What did you bring for lunch?
 ② You like to swim because you're a fish.
 ③ I saw them at English class.

Listen and Write:

① surprise	② candles	③ office
④ English	⑤ drove	⑥ basket
⑦ bite	⑧ medicine	⑨ gorilla
⑩ finally	⑪ afraid	⑫ whisper

Finish the Sentence:

An office has a smile
 A mouse is _____ in the corner.
 It is hard to swallow my

Name _____

Unit 21 - "Whose Surprise is it?"

Listen and Write:

① What did you bring for lunch?
 ② You like to swim because you're a fish.
 ③ I saw them at English class.

Listen and Write:

① surprise	② candles	③ office
④ English	⑤ drove	⑥ basket
⑦ bite	⑧ made sen	⑨ gorilla
⑩ finally	⑪ afraid	⑫ whisper

Finish the Sentence:

An office has Tables
 I see a white board _____ in the corner.
 It is hard to swallow big candy

4年生児童の解答用紙

東京農業大学稲花小学校

校長 夏秋 啓子